

(9) 2012年(平成24年)6月11日(月曜日)



SASの危険性学ぶ J.L近畿 地域本部幹事会・理事長研修会

【近畿】J.L近畿地域本部(木村眞一本部長)は2日、幹事が・理事長研修会を開催。吉田正則副本部長は「ドライバーが重大事故を起させば会社は大変なことになる。しっかり勉強して、持ち帰りながら勉強していく」と述べた。

り、取り組んでいただきたい」とあいさつ。研修会では、講師にヘルスケアネットワークリース(OC HIS)の作本貞子理事を招き、「21世紀の国民病・睡眠時無呼吸症候群(SAS)を正しく理解し、事故を防ごう」と題して講演。作本氏は「SASのリスク」「スクリーニング検査と治療」「取り組み事例と効果的な進め方」などについて解説した上で、「SASによる自分でコントロールできない」「一瞬の居眠り」事故の危険性を訴えた。

同氏は「事故防止と健康を視野に入れた労務対策が不可欠となる。まだSAS検査をしていない会社は、即効性のある事故防止対策として早急に検査を受けたい」と述べ、検査の受診、睡眠教育、定期健康診断のフォローの重要性を呼びかけた。

幹事・理事長会では、エコアクション21説明会を9日に同地域本部の会議室で開催する予定だ。(山田克明)